

平成30年4月18日

都議会議長 尾崎大介 様

東京都議会自由民主党
幹事長 秋田 一郎

都議会における「やらせ質問疑惑」への対応について（要望）

現在、平成29年9月の経済港湾委員会において、都民ファーストの会都議団の樋口議員が行った質疑に関して、現在都民ファーストの会都議団の政調会事務総長になっている、当時は小池知事特別顧問であった小島敏郎氏から樋口議員に質問原稿が渡され、樋口議員はその原稿に基づいて委員会で質問したのではないか、といった疑惑が報じられています。

しかも、この質問の内容は、小池知事が豊洲移転を延期し、さらに「築地は守る、豊洲を活かす」と発言することで、豊洲に千客万来施設を建設する予定であった事業者の信頼を失い、計画の遅れと経費負担が懸念される中、事業者に非があり、知事には責任がないことを殊更に強調するというものでした。

今回の件は、議員が質問するにあたり、所管局の担当者等との間で当該事業の趣旨や目的、今後の見通しや課題などについて意見交換を行い、質疑の内容を固めていくといった類のものではありません。知事の側近が知事を守るための質問を議員に要請し、その要請通りに、知事が特別顧問を務める会派の議員が質問をしたというものであり、都議会での審議に対する信頼を根本から揺るがす、まさに「やらせ質問」そのものです。

このため、各種報道機関も、連日、この問題を都議会における「やらせ質問」疑惑として大きく取り上げ、都議会の審議に対する不信感が広まっています。

そこで、都議会への信頼を取り戻すためにも、「やらせ質問」との疑惑がかけられている経済港湾委員会での質疑について、都議会が自ら究明に乗り出し、議会として真実を明らかにすることを強く要望するものです。